

SPINEXPO™ フォーキャスト

2050

SPINEXPO

2021年 秋冬

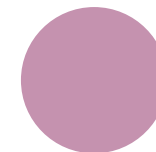
色

2050をテーマとしたトレンドのカラーは、初期のコンピュータグラフィックスに見られた寒色系の青色を引き立て、暖かい灰色に支えられています；
純粋な白と蘭の写真は、このトレンドで見られる幾何学的スティッチと3Dスティッチをポップに演出しています。キーとなる目新しさは、透明感と輝く虹色の要素が含まれています。

SPINEXPO



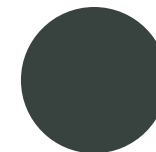
13-4308 TCX



16-2107 TCX



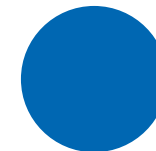
14-1106 TCX



19-4013 TCX



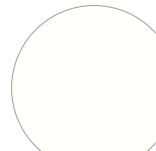
19-4906 TCX



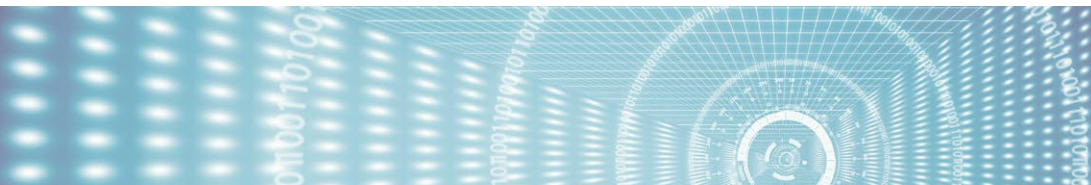
18-4244 TCX



16-6008 TCX

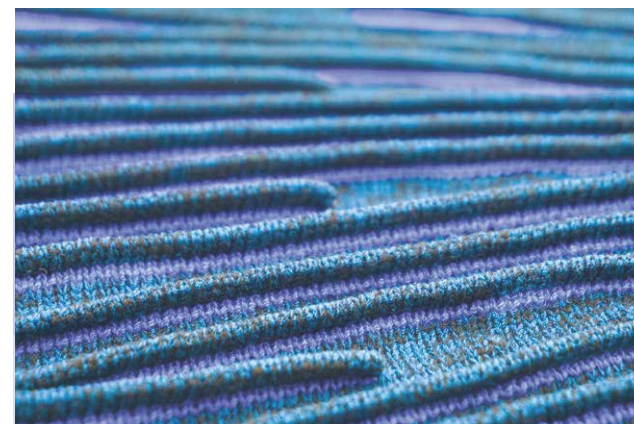


11-0602 TCX



インスピレーション

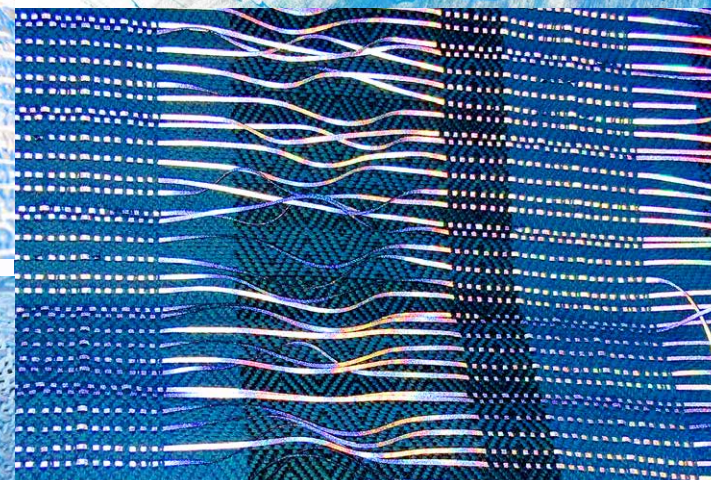
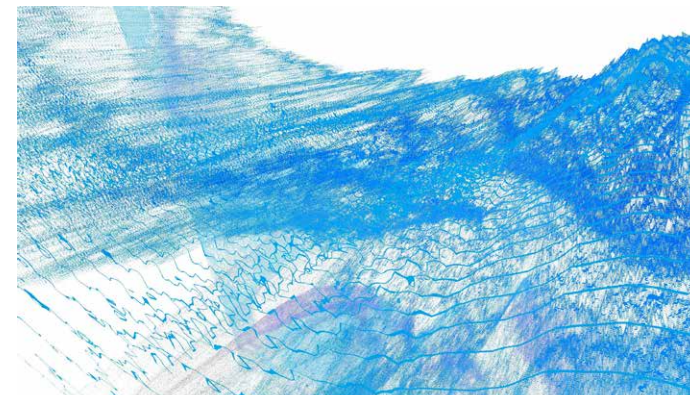
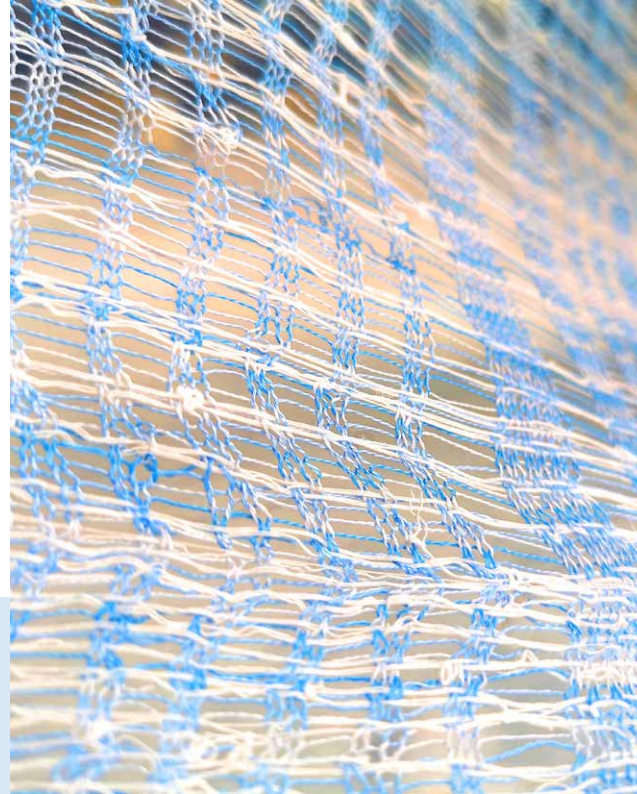
最近の出来事によって、私たちの将来の人生がどのようになるのか疑問に思うようになった今シーズンの最も関心の高いトレンドです。2050年は、環境、大気、そして、私たち人間にどのような変化をもたらされるかを予測する科学者にとっての基準となる年です。この方向性、トレンドのためのスティッチを開発するにあたり、我々のニーズに合う未来のニットウェアを想像、特に注目される重要なポイントは、撥水コーティング、テクニカルなレイヤー、ソフトな光沢感と3Dニットです。ファブリックはプレーンまたはスーパーストレッチ性を持ち、ガーメントは重量感を携え、サイエンスを纏った機能的な糸が中心となります。



螺旋構造

科学者や遺伝学者が、われわれの遺伝子が、健康や成長にどのように影響するかを解明するにつれ、DNAの細かな鎖のつながりは、それ自身の組織的なインスピレーションの源となり得ます。ストレッチ素材で作られた数学的でしなやかな形状は、人間の体格にジャストフィットし、身体を護りながら同時に、サポート機能も発揮します。





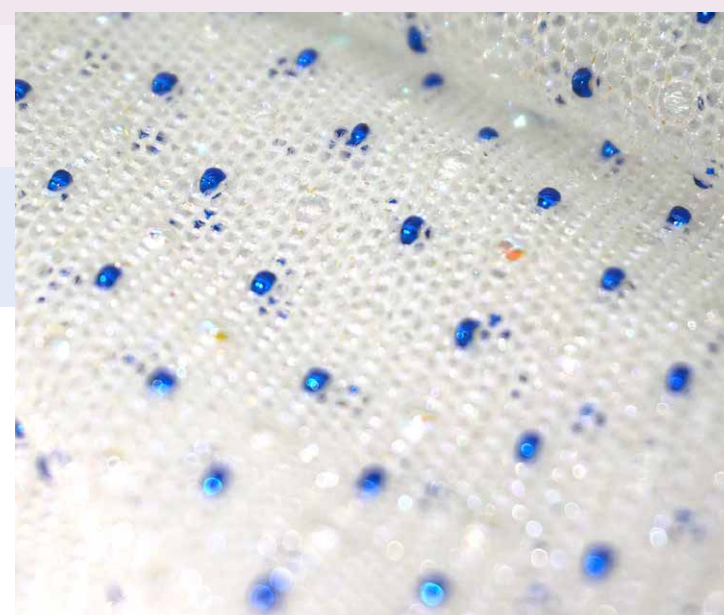
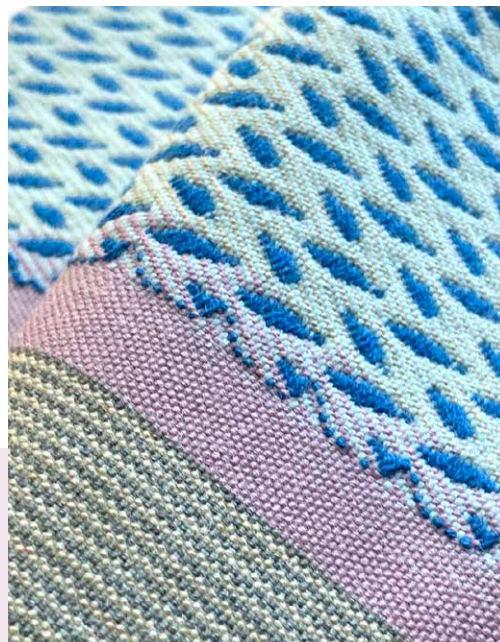
流動的フィラメント

科学産業分野とファッション産業が、ウェアラブルテクノロジーの開発に向け協同し、コンセプトを作り続けている間、デザイナーはスティッチの開発に余念がなく、ガーメントや生地に機能素材を取り入れ、装飾目的だけでなく、真のテクノロジーによる身体の保護も可能な製品のアップグレードに取り組んでいます。



エコロジー志向

従来のチェック柄は、マットな表面とパフォーマンス素材のストレッチヤーンで未来的なアップデートを可能にします。世界が混沌とする出来事が、私たちの情緒の安定に影響を与え、安心できる対称性と均一性で、私たちが落ち着かせるパターンと装飾的な生地感にトレンドは向かっていきます。



完成された絵画

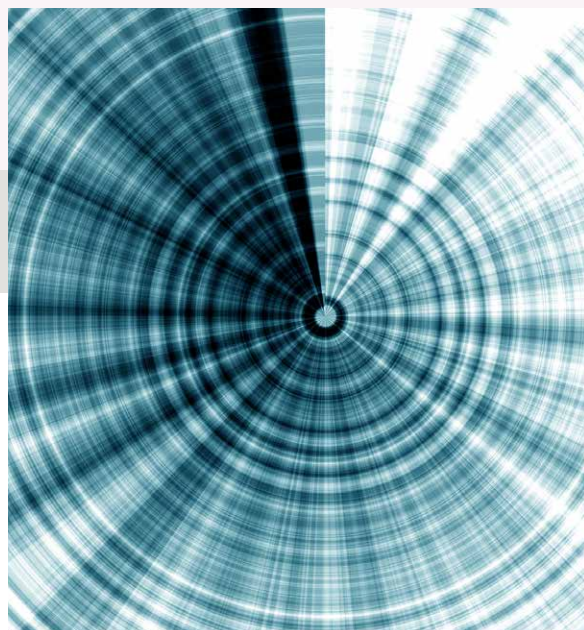
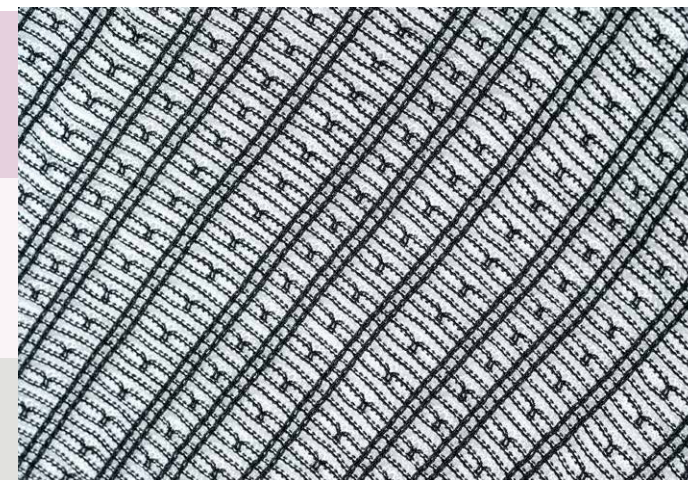
古風でクラシカルなドット柄が21世紀になって刷新され、デザイナーは未来的な糸を使って新しいドット柄のバージョンを創作し、透明な糸とスポンジ状のコンパクトな糸の両方が、この伝統的なパターンを現代的で柔軟な素材に変換しています。



3D構造

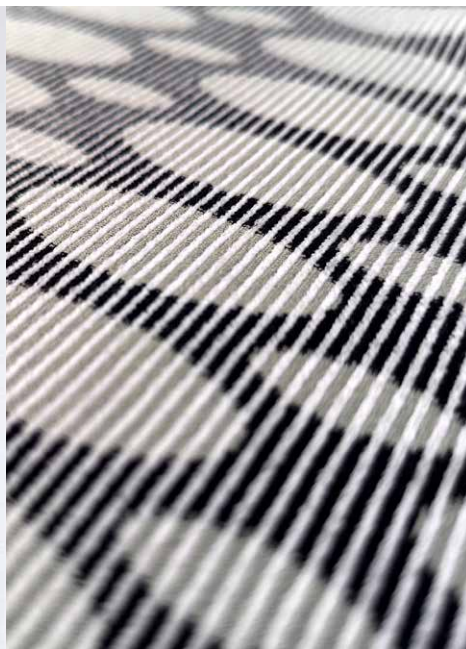
今シーズン、デザイナーたちが探求した3D構造は、コンピューターで生成された画像のピクセルやフラクタルに見られるデジタルの精度向上に向かっていきます。異なる熱特性およびストレッチ性を有する糸を組み合わせることにより、パフォーマンスウェアにおける新しいコンセプトを生み出します。





線型思考

直線的なパターン of 単純な反復は、デザイナーがニットウェアのための、洗練され且つ、控えめなパターンの作成時の探求の際に、新しいステッチと生地 of クリエイティングを可能にします。さまざまな色の組み合わせがパフォーマンス・ヤーンと組み合わせられ、独特のボリューム感のある製品を創り出します。



フラットの深さ

方向性を定めるモチーフの新しいソースとして、2Dパターン光学が再評価されています。ジャカードは、動きのあるとき、または特定の角度から見たときに3次元に見えるスーパーフラットなトランプ効果に進化します。



2050 is created in partnership with SPINEXPO™
by Steven Oo, Rory Longdon, Helga Matos, Laura McPherson, Jo Bee

© Photos: Stylists and Shutterstock